

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年6月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400032
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム たるみず太陽の家
所在地	鹿児島県垂水市浜平2189-6 (電話) 0994-32-5030
自己評価作成日	平成24年5月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年6月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型グループホームを目指すと共に、自然と触れ合いながら質の高い介護サービスを提供し、要介護状態の軽減と悪化の予防に、最善を尽くしています。

家庭的な雰囲気の中で日常の生活を皆で支え、楽しく過ごして頂けるよう支援しています。

すぐ目の前の畑で野菜を作り、育ち具合や収穫の楽しみを味わって頂いています。

保育園の運動会や、地域のお祭り・千本銀杏見学・お花見・バラ園見学・気晴らしのドライブ等、外出を多く取り入れ、入所者様とご家族に喜んで頂いています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・このグループホームは、広くゆったりと作られ、ホールからテラスに出ると野菜畑や海が眺められ、雄大な景色がひろがっている。

・運営会議は、行政からのアドバイスや地区の参加者からも積極的な意見が出され、サービスの向上に活かされている。

・地域行事への参加はもとより、小学校から入学式や卒業式の案内が届けられるなど、地域との友好が深まっている。

・ボランティア希望者が多く、災害に対する避難に対して、地域の協力体制が盤石にできている。

・職員は介護技術に対する向上心があり、常にケアを改善しようと取り組んでいる。

・入居者それぞれにあわせて、柔軟でスピーディーな対応ができていると、家族から喜ばれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	見えやすい所に理念を掲げ、いつでも確認し意識出来るようにしている。管理者と職員は、常に地域密着型サービスを意識し、実践に取り組んでいる。	たるみず太陽の家として、地域交流を積極的に取り入れることを掲げる理念を作成し、掲示している。管理者と職員はその理念をミーティング等で確認し合い、共有しケアに反映している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入し地域の催し物や奉仕作業等に、積極的に参加している。利用者と近くのお店に買い物に行ったり、地域の方と会話を交わし、農作物を頂いたり、安くで購入している。	自治会に加入し、地域の奉仕作業や行事、幼稚園の七夕、小学校の入卒業式に参加している。事業所の行事を通じて、地域の商店や人々との関わりを通じ、事業所が地域の住民として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	実習生の受け入れを積極的に行っている。夏祭りや健康体操等の催しの際は、ポスターを貼ったり近所の方へ案内状をだし参加して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では利用者現状・活動・職員研修・毎月のたより等の資料を準備し報告を行っている。評価への取り組み状況も報告し、委員や家族からの提案も多く、サービス向上に活かしている。	行政や地域住民の参加で、定期的に会議が開かれている。ホームの現状報告や活動、外部評価の結果報告、要望等、資料を添えて行っている。積極的に意見や提案が出され、特に町内会からの意見が多く、サービスの向上につながっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所の担当者とは連絡を密に取り、報告や相談事など市役所に出向き、沢山の助言を頂いている。	市の担当者とは、事務手続きの他、サービスや運営に関する相談を行い、助言をもらっている。また、市主催の勉強会に参加したり、積極的に連携を取り、他のグループホームの紹介を貰ったり、協力関係を築いている。	
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体束縛委員会を設置し、毎月確認している。研修会への参加や勉強会も行い職員全員が、身体束縛の具体的な行為を正しく理解し、身体束縛をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、勉強会や研修会に参加している。身体拘束の具体的な行為を職員全員が理解し、ケアの取り組みに活かしている。家族にもその重要性を説明している。昼間の玄関の施錠はしていない。利用者は拘束のない自由な生活を過ごしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待の勉強会を行い身体だけでなく言葉の精神的虐待がないよう努めている。入浴時あざや傷がないか注意すると共に、外出から戻られた時の状態にも気を配っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会の資料をもとに勉強会を行い、権利擁護と青年後継人の制度について全職員が理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書や契約書をもとに時間をかけ納得して頂けるように説明している。ご家族の不安や疑問点、意見なども伺い、理解と納得が得られるよう説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。運営推進会議にご家族も交代で出席して頂き、意見を表せる機会を設けている。家族の面会時には意見・要望を聞くように努め運営に反映している。	利用者や家族が、外部に意見を表せる方法や機会を説明している。意見箱の設置もある。家族会や運営推進会議・面会時での意見を大切にしている。また、利用者に2者選択法などで思いを聞く工夫をして、ケアや運営に活かしている。家族会議ではアンケートを実施している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者や管理者はミーティング等で職員の意見や要望を聞く機会をもうけ、運営に反映させている。	職員からの日々の意見や提案は、連絡帳が利用され、早急な対応に役立っている。代表者や管理者は、ミーティングや職員会議で職員の意見や提案・要望を聞くようにして、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員の状況を把握し各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は介護の質のレベルアップを重要視されており、研修への参加や資格取得を勧めている。また、職員を育てる取り組みを行っており、働きながらトレーニングしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型連絡協議会や大隅地区グループホーム連絡協議会に加入し、勉強会や交流会を通じて質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>困っている事や要望はないか目線を合わせて傾聴し、職員全員笑顔や言葉遣い等配慮し、早期に信頼関係が築けるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用を開始する段階で話しやすい雰囲気作りを心掛け、希望、要望、心配事等 時間をかけて傾聴し信頼関係が築けるよう努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時の本人や家族の状況を確認し、その方のニーズに合ったサービスが受けられるよう対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は介護しているという一方的な考えを持たず、一緒に生活する者同士としての関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月の便り、電話等で利用者の様子をお伝えしている。病院受診の他 外出など家族と過ごす時間も多く、共に支えていく関係が築かれている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅へ帰られたり、家族とドライブや外食をされている。お見舞いやお葬式に出席し、お祭りにも参加されている。 親戚、友人の面会時はお茶を飲みながら、楽しく会話できるよう配慮している。	自宅や友人・同級生宅への訪問、見舞いや墓参り等への出席、ドライブや外食等の支援を行っている。家族の協力を得ながら、大切にしてきた馴染みの関係が、途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご夫婦の方や相性など、状況に合わせ座席の配置を工夫している。不穏な雰囲気を感じたら、さりげなく別のことに誘い、気分を変えられるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、これまでの関係性を大切に、近況を聞かせて頂いたりしながら、出来るだけ関わりが持てるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃から利用者や家族から希望や意向を伺うようにしている。困難な場合、職員間で検討している。	アセスメント時に本人家族の思いや暮らし方の希望を把握している。日々の言動や表情・素振りから意向を汲み取り、連絡帳を利用して検討している。また、困難な場合は、職員間で検討し、本人本位のケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境等、これまでの事を本人家族からお聞きし、サービスにつなげている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの出来る事・出来ない事、心身状態など現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らせるよう、家族や関係者の意見を取り入れている。病院受診や外出・面会等ご家族の協力も頂き、介護計画に取り入れている。	各関係者のそれぞれの意見や気づきを反映した介護計画を作成している。日々の援助計画とその日のチェックとモニタリングを土台に、本人や家族の要望や意見を取り入れ、3ヶ月毎にアセスメント・モニタリング・評価して、現状に即して見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活や行動・気づきなど個別記録に記入し、申し送りやミーティング等で、情報を共有しながら実践に生かしている。</p>		
28		<p>ji</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、必要なサービスを見極め、柔軟な支援が出来るよう努めている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議や市報・回覧などで地域資源を把握し、活用することで、豊かな暮らしを楽しむ事が出来るようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の希望されるかかりつけ医に、定期的に受診されている。病院まで行けない方は、訪問診療が行えるよう支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期受診・訪問診療等、情報を提供して、指示を貰い、医療機関や家族と連携をとり、適切な医療を受けられるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の利用者の状態を記録に残し、申し送りにて報告。一般状態経過表に記録し、利用者個々の受診時コピーを渡して報告している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>日頃から医療関係者への相談・情報交換を行っている。入院時は面会に伺い、問題が発生した時は利用者・家族・医療関係者。事業所との情報交換を密に行い、安心して治療できるよう心がけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化・終末期に関する方針を説明している。重度化した場合、医療関係者との連携を取り、早い段階で利用者・家族と話し合い、意思を尊重し事業所は最も適した介護・支援に努めている。</p>	<p>入所時に、重要事項説明書の中にある重度化・終末期に関する対応の指針を説明している。事業所の体制や家族との話し合い、意思確認の方法についても明文化して、本人・家族の同意書ももらっている。現状を見ながら、最も適した介護支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得て、定期的に救命講習を受講している。緊急対応マニュアルを整備し、過去の事例も参考にしながら勉強会等で学んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを整備し定期的に避難訓練を行い記録に残している。災害時の協力体制を築くため、消防団員や地域の方とのお茶会を計画している。</p>	<p>年2回消防署の指導のもと、地域住民と共に、火災訓練を実施し、確認や反省を記録している。毎月マニュアルに沿って避難訓練を行い、地域との協力体制を築き、地域連絡表を作っている。避難場所を決めており、水害のための山の上への避難訓練を行っている。備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々によってコミュニケーションの取り方が違うので、その方に合った声掛けを行い、気分よく過ごして頂けるよう心がけている。	人格の尊重とプライバシーについて勉強会をしている。個人にあったコミュニケーションを行い、特に排泄や入浴・更衣時には、誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症が有っても自己決定しやすいよう工夫し、日頃から利用者の思いや希望を伺うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを大切にし、その日の体調も見ながら起床レクリエーション就寝時間など希望に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	色合いを揃えたり ロングスカートをはいたり、こだわりの着こなしを楽しまれている。自分で選べない方は、本人に聞きながら職員が選んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの能力に合わせて、下ごしらえ、片づけ、台拭き、盛り付け、お盆拭き、茶碗洗い等 職員と一緒にしている。	菜園で作った野菜を収穫して、それを使った料理や行事食・季節食・外食を楽しみにしている。食事の準備などからその人の能力や楽しい気分を引き出しながら工夫して支援している。献立は栄養士のアドバイスを受けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は刻み、ミキサー食、とろみを使用するなど多様に対応し食の細かい方にはエンシュアで栄養を補っている。食事、水分の確保は記録で把握している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後 歯磨きの声かけをし、一人ひとりの状態に合った援助を行っている。義歯は就寝時に洗浄剤につけて洗っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレの声掛けや誘導で自立支援し、出来るだけ布パンツに変えて、おむつの使用を減らすようにしている。	排泄チェック表により排泄パターンを把握し、自立に向けて取り組んでいる。毎日のリハビリの筋力アップにより、排泄の自立につながっている。オムツから布パンツへの排泄の自立に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食事や乳製品を取り入れ、水分摂取に努めている、歩行訓練や腹部マッサージで腸を刺激し便秘の予防改善に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの希望を伺い本人に合った入浴を行っている。入浴を嫌いな方へ声掛けを工夫したり、入浴のタイミングを逃さないように誘導している	入浴は基本的に週3回であるが、希望者は毎日でも入浴が可能である。個別入浴を実施し、本人の希望を取入れて、楽しい入浴をしている。入浴を拒む利用者には、タイミングを見て言葉かけや対応に工夫して、個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の生活習慣や身体状況に応じて必要な安眠や休息が出来るよう支援している。起床・就寝時間は個々の生活リズムに合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報を全職員が把握できる表を作成し、勉強会を行っている。服薬は誤薬が無いよう2～3名で確認し、症状の変化も見逃さないよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日楽しく過ごして頂けるよう個々の力を生かした役割や、気の合う方との買い物・ドライブ・散歩等、気分転換の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日常的に利用者の希望があれば予定を変更し、散歩・ドライブ・買い物・地域の催しものに出かけている。ホームの行事やドライブ等で、普段行けない所へ出かけられるよう支援している。</p>	<p>入居者の一人ひとりの希望に沿って、日常的に散歩やドライブ・買い物・保育園訪問・地域の催し物等に出かけている。普段はいけないような場所も、職員や家族の協力を出かけている。地域のボランティアの協力も多い。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>所持金が無いと不安な方は、ご家族の希望で自由に使えるお金を所持されている。管理が出来ない方はホームで預かり、買い物は本人が支払い出来るよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば本人から電話したり、かかって来た電話で自由にお話しされている。年賀状の宛名書きなどを手伝い、やり取りが出来る様支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るく大きな窓と広いホールが開放的で、季節を感じられる壁飾りや写真など展示している。畑の見える日当たりの良い所にソファが沢山あり、好きな場所できつろげるようにしている。</p>	<p>共用空間は、設置規準より広く、天井も高く明るい。入居者に合わせた座り心地の良いソファがいくつもあり、訪問時の家族も一緒にくつろいでいる。ホールからテラスに出ると野菜畑や海が眺められ、ほっとすることができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファが3か所に分けて配置しており、独りになれたり気の合う方と、自由に過ごせる居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真や、使い慣れた布団、着慣れた衣類をご家族が用意され、少しでも居心地良く過ごせるよう工夫している。面会時は居室でゆっくりお茶を飲まれている。	居室は余裕のある作りで、トイレも備え付けられている部屋もある。家族が部屋にロッカーや棚を作ったりして、本人にとって自分の家として使っている。必要なものや馴染みのものが持ち込まれており、居心地のよい居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に出来るだけ自立した生活が出来よう、居室外には手すりを多く取り付け、歩行器でも安全に通れる広い空間を作っている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない